



ブライツ・アセット株式会社

ヨーロッパの労働市場と移民

ヨーロッパの南北問題は労働市場にも表れています。ほとんどの国で若年層の失業率は高く、移民の流入がさらに仕事を奪っていているようです。

2019/02/21

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社
登録番号：関東財務局長（金商）第 3102 号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会（予定）
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

ヨーロッパの労働市場と移民

ヨーロッパの南北問題は労働市場にも表れています。ほとんどの国で若年層の失業率は高く、移民の流入がさらに仕事を奪っていているようです。

ヨーロッパ各国の失業率

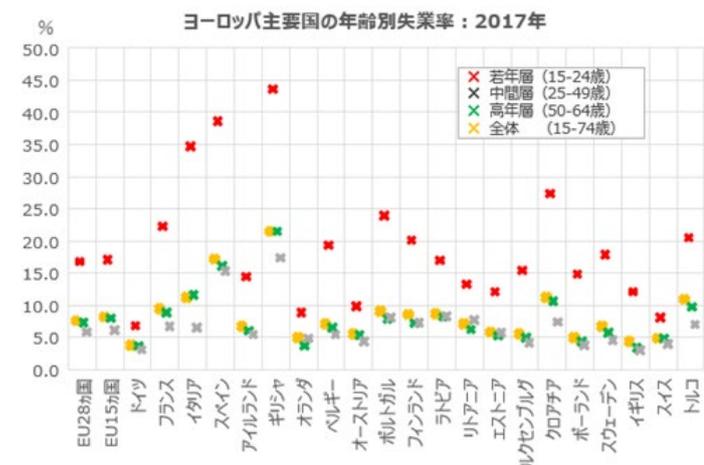
ヨーロッパ主要国の失業率をまとめてみました。

ドイツ、フランス、オランダ、オーストリア等勝ち組と言われている北側諸国の失業率は南側諸国（周縁国）に比べて低くなっています。

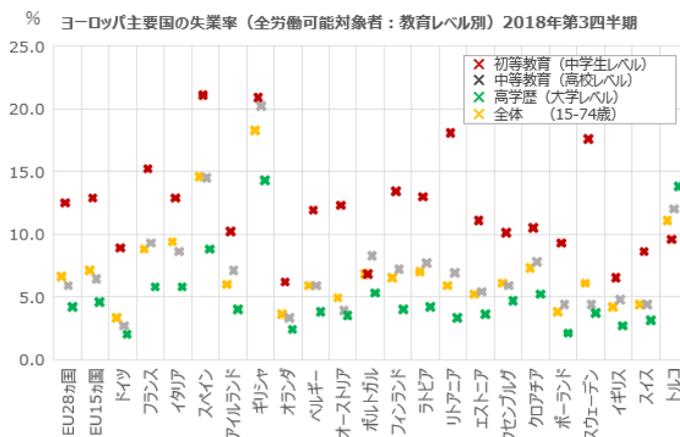
また、ドイツ以外のほぼすべての国において、若年層の失業率は非常に高くなっています。フランス、ベルギーでは全体の失業率は低いものの、若年層の失業率が高くなっている国があります。イタリア、スペイン、ギリシャでは若年層の失業率は30%を超えています。

教育レベル別の失業率をまとめてみました。

各国とも、高等教育（大学、大学院以上）を受けたものの失業率は非常に低くなっていますが、初等教育しか受けていない人の失業率は非常に高くなっています。

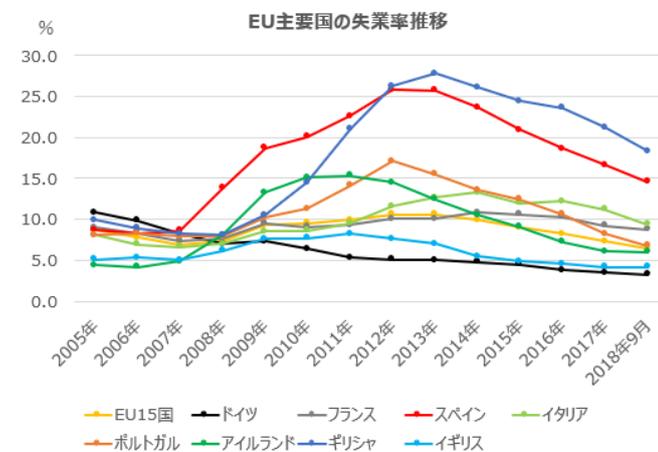


出所：ユーロスタッドより

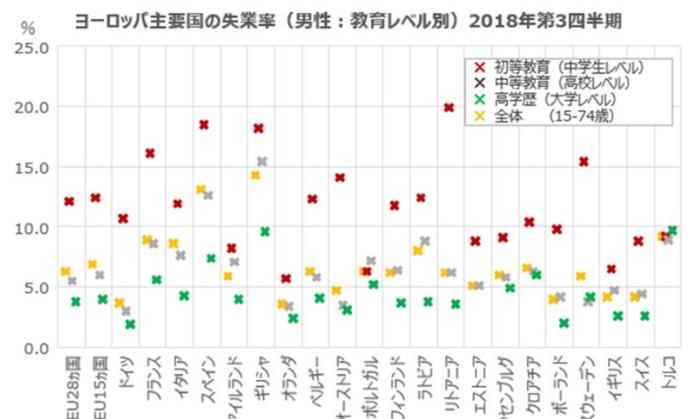


出所：ユーロスタッドより

次に男女別に教育レベルごとの失業率をまとめてみましたが、男性よりも女性の失業率が、イタリアやスペインにおいては高くなっています。一方、ドイツやフランスでは、男性の失業率が若年層を中心に高くなっています。

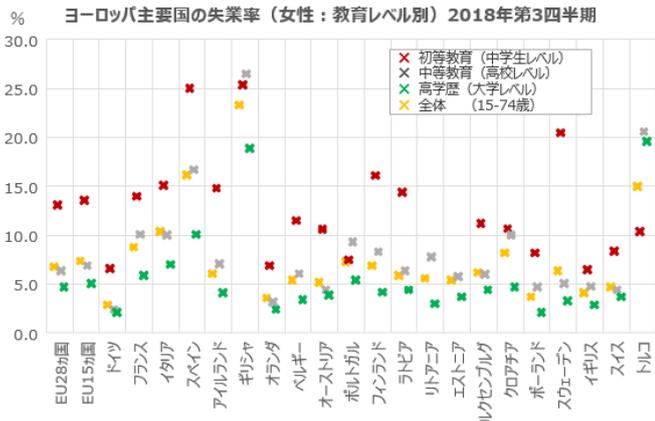


出所：ユーロスタッドより



出所：ユーロスタッドより

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライト・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。



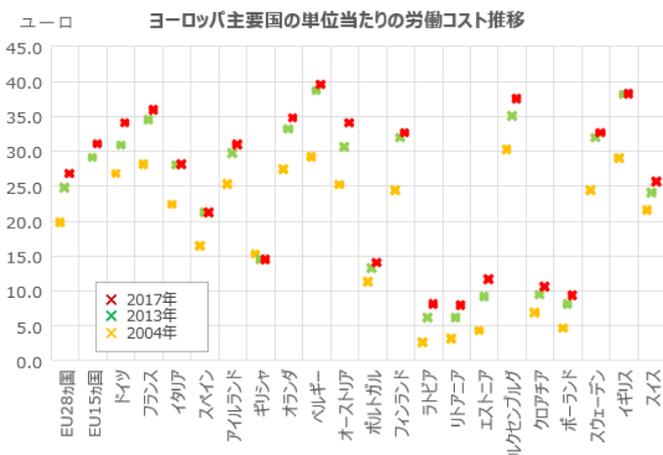
出所：ユーロスタッドより

教育レベルが低い若年層は就業できないという実態が数字上では明らかになっています。

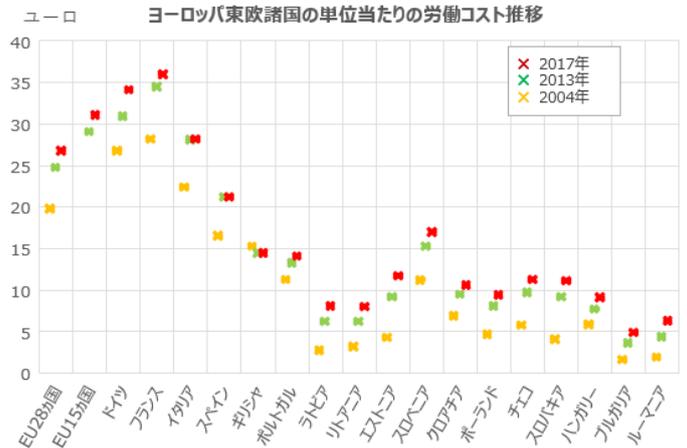
ヨーロッパ各国の労働コスト

EUは東欧諸国へ拡大を続けています。ヴィシエグラド諸国（ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー）はドイツ企業の生産拠点として生産活動が活発で、東欧諸国やバルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）といった国では、労働コストは上昇を続けています。労働コストだけを見ると、大企業が新しく生産拠点を設ける場合には、東欧諸国は、魅力的となっています。

一方、経済規模の大きい欧州諸国（ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ）では、労働コストの上昇は高止まりしているようです。



出所：ユーロスタッドより



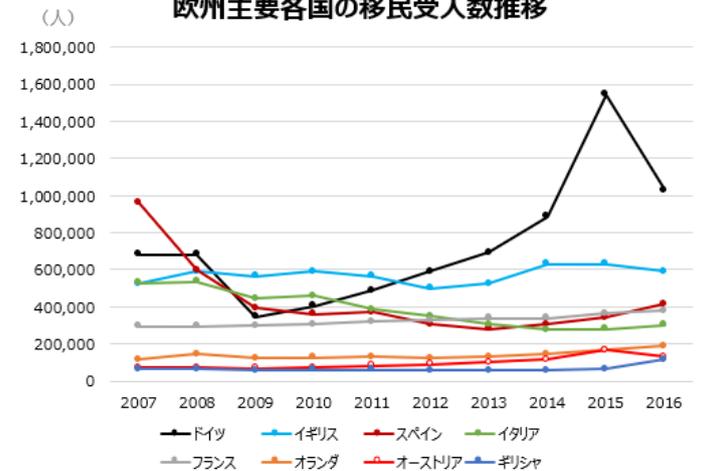
出所：ユーロスタッドより

ヨーロッパへの大量移民流入

欧州特に南欧諸国で景気が低迷し、失業者率が高い環境であるにもかかわらず、大量の移民が流入し低賃金の労働力が増加しました。低賃金の労働も奪われ、若年層の就職はさらに景気が良ならない限りは難しい状況です。

ドイツは2015年に150万人の移民を受け入れています。

欧州主要各国の移民受入数推移



出所：ユーロスタッドより

2007年から2016年にかけての移民受入数を国別にまとめてみました。移民受け入れの累計を2016年の人口比で出してみました。こうしてみると、欧州主要国では、人口比で10%もの移民が流入したことになります。この移民に人たちが、欧州各国で低賃金の労働を奪っていると推測されます。反移民政策を掲げるポピュリズム政党が人気になっている国は、軒並み移民人口が高く、社会問題となっていることが数字上でも明らかです。例えば、日本で人口比



5%の移民（600万人）が流入したら、大変な問題となるでしょう。これが、ヨーロッパの実態です。

2007年～2016年の移民受入数の累計と人口比（2016年）

	ルクセンブルグ	キプロス	マルタ	アイルランド	オーストリア	ベルギー	スロベニア
2007年～2016年 移民累計	198,013	178,623	94,830	731,601	974,654	1,072,108	194,463
2016年人口比	34.4%	21.1%	21.1%	15.5%	11.2%	9.5%	9.4%
	スペイン	ドイツ	オランダ	ルーマニア	イタリア	ギリシャ	フィンランド
2007年～2016年 移民累計	4,329,478	7,346,086	1,395,567	1,299,540	3,866,182	665,463	295,336
2016年人口比	9.3%	8.9%	8.2%	6.6%	6.4%	6.2%	5.4%
	リトアニア	チェコ	フランス	エストニア	ポーランド	ラトビア	ハンガリー
2007年～2016年 移民累計	153,731	551,806	3,263,387	58,702	1,618,207	79,962	358,296
2016年人口比	5.3%	5.2%	4.9%	4.5%	4.3%	4.1%	3.6%
	クロアチア	ポルトガル	ブルガリア	スロバキア	スウェーデン	デンマーク	イギリス
2007年～2016年 移民累計	117,764	250,425	107,313	64,444	1,141,319	614,866	5,716,986
2016年人口比	2.8%	2.4%	1.5%	1.2%	11.6%	10.8%	8.7%

出所：ユーロスタッドのデータより、ブライト・アセットが作成